

探究部からのご挨拶

みなさん、こんにちは。探究部です。1 年生は 4 月に入学してあっという間に 6 月でしょうか。探究部も様々な企画を進めていくうちにあっという間の 6 月となりました。ご挨拶遅くなりましたが、今年度も探究通信を出していきますので、みなさんで探究意識を深めていきましょう！

今年度の教員探究部メンバーは以下の通りです。探究活動で何かあれば、相談してください。

- | | | |
|---------------|--------------------|------------|
| ・梅澤先生（国語科 主任） | ・可長先生（地学科 SSH 主担当） | ・田中先生（生物科） |
| ・高野先生（化学科） | ・月森先生（英語科） | ・武藤先生（英語科） |
| ・金田先生（化学科） | ・石橋先生（物理科） | ・瀧脇先生（物理科） |

Tachikawa SSH News について

探究通信を発刊していきます。こちらで探究部からのお知らせや探究活動の予定等を掲載・周知していきます。ぜひチェックしてください。また、現在どのような探究活動が行われているか等々を、各クラスの探究委員の人たちが記事にしてくれます。探究委員の人に取材されたら、ぜひ協力してください。よろしくお願いします。

課題研究講演会について

入学しまだ日が浅い 4 月 2 3 日に、岡本尚也先生にご来校いただき講演をしていただきました。課題研究をこれから始める 1 年生にとっては非常に影響のある講演となりました。詳細は右頁に掲載しています。

探 究 委 員 レ ポ ー ト

1 学年の普通科では、SS 課題研究Ⅰで「多摩の探究」を行っています。この授業では、「多摩」に関するテーマごとにグループに分かれ探究活動を行っています。

多摩地区の都市計画を探究する班では、マインドマップを用いてテーマ決めを行いました。個人で考えたアイデアを出し合い、グループでより良いテーマを設定できるように、何度もアイデアの共有を繰り返しました。

このあと 7 月 2 日（土）の探究 Day では、1 日を使って探究活動を行います。プラスチック問題について探究する班では、身近なマイクロプラスチックを調べるために、魚の解剖を予定しています。



（1 年 A 組 探究委員）

1 学年対象 課題研究講演会「課題研究から広がる可能性」

4 月 23 日（土）3・4 限目

講師：岡本尚也氏 （一般社団法人 Glocal Academy 代表理事）



1 年生が課題研究をスタートさせるに当たり、課題研究メソッドのテキスト（啓林館）を著した岡本尚也氏に、探究活動の意義やその進め方について、語っていただいた。岡本氏には、SSH1 年目の年から今回で 5 回目の実施である。探究の面白さや意義を、世界を見据えたグローバルな視点で話される内容は、毎年生徒らを刺激し意欲を高める機会となっている。

岡本氏は慶應義塾大学理工学部から大学院まで学んだ後、ケンブリッジ大学で物理学博士号を取得。その後オックスフォード大学で日本学修士号を取得し、ケンブリッジ大学での物理研究の成果が Nature Materials 等、世界トップジャーナルに論文掲載された。現在は一般社団法人 Glocal Academy を立ち上げ、全国の SGH や SSH の課題研究指導・教育プログラム作成等の支援のほか、大学や企業の支援、文部科学省や米国国務省などでアドバイザー支援を行うなど、オピニオンリーダーとして活躍されている。

氏は、世界では「黙っていること＝意見をもたないこと」は、存在しないことと同じであり、考えを発表、表現することの重要性を伝えた。当日は次々と問いを投げかけながら話が進み、広い多目的ホールのあちこちで手が上がって、活発なやりとりが見られた。終了後も質問に集まった生徒に丁寧に答えて下さり、メールでの質問もどうぞとのことであった。アンケートでは、探究の意義を理解し、モチベーションを得た、視野が広がった、「目からうろこ」体験であったなど、新たなものの見方や思考方法についての気づきがあったことを伝えるものが多く、充実した講演会であった。



★アンケートより一部抜粋★

※なかなかすばらしい感想、意見が多いため、できるだけピックアップしましたぜひ読んでみて！

・人それぞれ価値観というものがあって、様々な価値観に触れることによって自分が形成されていくのだなと感じました

・自分の将来は自分で決めようと思った。道はたくさんあるので、高校生活を通して自分の好きなことを見つけ、将来を自分で切り開いていきたい。

・目を肥やすというのは目から鱗でした。これから積極的に多くの情報に触れていきたいと思います。

・私は、今回の講演会を受けて、自分の夢を叶えるために、今の私が意識すべきことに、気が付くことができました。まずは自分の意見を持つ、そのためにも新しい情報に毎日触れる、他人の価値観を尊重しながら自分の価値観を構築していく、そして好きなことは突き詰める、これらのことを、これからの高校生活や、人生の中で意識していこうと思います。

・岡本先生のお話を聞いて、自分が関心のある事を探求することへの興味がさらにわいてきた。「探究活動したことが将来のやることに直接つながってなくてもよい」ということを知って、その時自分がほんとうにやりたいことを探求していいのだと安心できた。非常に有意義な時間を過ごさせていただいてありがとうございました。

・今回の講演で、普段の勉強の大切さを改めて感じました。人に分かりやすくものを説明するには、その人よりものについて多く知っている必要があるので、普段の勉強から知識を付けていくことがとても大切だと思いました。これから探求学習をする時にも、課題を発見したり、それを解決するために少しずつ知識を付けていきたいです。この度は私達に講演をしてくださりありがとうございました。

・自分は正直言って、過去から現代にかけての学問や歴史などをどんどん吸収してさえすればよいと思っていて、自分で学問の世界を広げていくなんて考えたこともありませんでした。ですが、今日岡本先生のお話を聞いて新たに考えが変わりました。自由に学問的な知見を一番広げられるのは我々のような時間のある若者であり、自分だけしか知りえないことを増やしていくことこそが最高の学ぶ意味なんだとわかりました。また先生が言った言葉のなかで私の一番の印象に残ったものは、英語を喋れないことを恥じるな。意見を持たないことを恥じろ。という言葉です。私は時々、意見を思いついても伝える手段がないので放っておくということがありました。意見持っていないても伝えなければ意味がない。このことを常に意識して、これからの学生生活そして人生を生きていきたいです。

・先生の講義を通し、これからの時代は、無限大の選択肢があり何が正しいかの答えはありません。その中で自分が正しいと思う選択肢を選べるように、探究をするということがわかりました。これから経験することに対し、先生が仰っていた自分と向き合い、最適な選択をしていきたいです。

・先生の講義を通し、これからの時代は、無限大の選択肢があり何が正しいかの答えはありません。その中で自分が正しいと思う選択肢を選べるように、探究をするということがわかりました。これから経験することに対し、先生が仰っていた自分と向き合い、最適な選択をしていきたいです。

・自分の意見を他人に表現しなければ考えないことと等しいということで、他人に自分の意見を伝えるための能力を伸ばしていこうと思いました。

・これから色々なことに取り組んでいく中で、自分の意見を持つこと、それを相手に伝えることがとても大切だということを学びました。これからは、色々な場面で、専門の方と会話する機会があるとおもいますが、しっかりと自分の意見をもち、その上で質問を重ねていきたいと思いました。

・身近なことに対して問いを立てることの大切さを感じました。高校生活を通して、自らの将来に役立つような探究活動をしていきたいと思います。

・自分は起業をして、具体的なことは思いついていませんが新しいデバイスを作ることが夢なので、今回の話を自分のものにして成長していきます。

・この度は私たちのために講演会をしてくださってありがとうございました。私も日々新聞やテレビで情報に触れてはいましたが、その中の意味を詳しく説明できないような言葉も流してしまっていました。なので気になった言

葉一つ一つに注目をして、情報に触れるとともに知識も広げていきたいと思います。 私には今、気になっていて調べてみたいと思うことがあるので、その探求に向けてまずはその方向の知識を蓄えていこうと思います。

・今日の講演会で課題研究への関心が深まりました。私たちの周りに溢れている情報の中で毎日気になったことや、わからないことを調べてみる習慣をつけていくことが必要だと感じました。特に印象に残ったことは、海外に行ったとき、恥じるのは英語ができないことではなく、自分の意見を持たないことだと言っていたことです。その話を聞いたとき、普段私は、周りの人がやっているから、とか、何でもいいなどと言って自分の意見をもって行動していないということに気づかされました。そして、自分の考えを持ち、深める力をつけていきたいと思いました。自分の興味のあることに着目して課題研究をしていきたいです。

・今の自分には、研究のテーマを決められるほどの知識がないことに気づき、それを見つけるためには、日常の中から情報収集を欠かさないことや、そのような目が必要なのだと気づいた。

・探求の授業のことを世界規模で知ることができ、探究することの壮大さを感じることができた。先生の話を受け、まず、なんでもいいから、自分の意見を持つこと、そして、より多くの視点で物事を見ることをこれからの探究の授業で大切にしていきたい。

・非常に刺激になりました。私自身、まだ課題研究で何に取り組むのかははっきりしていなかったのですが、今日の講演で少しアイデアが浮かびました。自分の価値観を広げるために海外留学をしたり、異国文化に積極的に触れようとするなど、どんどん挑戦していきたいです。

・意見を持っていないことを恥じた方がいいという言葉が、とても心に残った。確かに、自分がこうしたい、ここは間違っているのではないかと周りの情勢と自分の価値観をリンクさせて、伝えないと、相手にされないのがこれから直面していく「社会」なのだろうと感じた。そのため、そのいわゆる『批判的思考力』を養う手段の一つに課題研究があると理解できた。だから、課題研究は結果を重視するよりも、自分でなぜ、どうしてを繰り返して、いろんな人の意見を聞いて、自分についてない能力(私は疑って突き詰める力、考えに白黒を決めつけない力など)を身に付けていくというプロセスを大切にして、取り組んでいきたい。大人になるとやったことが全て自分のためになるとは限らないけど(売上のための仕事、お客様の満足のための仕事など)、今は、課題研究や勉強、部活などやった分だけ自分の力なるんだと気づいた。でも、なぜそこまでして自分を高めていかなければいけないのか、純粋に疑問に感じた。日本の博士号の取得人数の低さがどう影響しているかや、難しい話題にはとても高度ですぐには考えつかなかったが、課題研究において何をすべきか、将来どうあるべきか、など未来の筋道を示す貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。

・私は、量子力学に興味がありましたが、法律についても興味があり、どちらを課題研究のテーマとするか迷っていました。しかし、今日の講義を拝聴し、1つのテーマから色々な学問における問いやアイデアへ広げていく方法を行うことで解決すると思いました。例えば、量子力学ではタイムマシンを作ることが可能とよく言われてますがそこについて掘り下げる、法学では過去未来の改変を規制するべきか、歴史学ならタイムマシン開発の歴史を調べていく、などこの方法であれば理系、文系に分かれず、自分にしか思いつかない課題研究テーマができると思いました。今日の講義での学びを課題研究で生かせるように、様々なことに詳しくなります。わざわざ遠方から来てくださり、ありがとうございました。

・課題研究は奥が深い。自分の知識範囲はまだまだせまいとよくわかった。もっともっと知識量を増やしていきたいと思った。

・岡本先生のお話を聞いて思考の領域が格段に広がりました。ありがとうございました。

★また次号以降も感想を載せていきます。